

ごみの資源化・減量化にご協力ください！

環境保健係

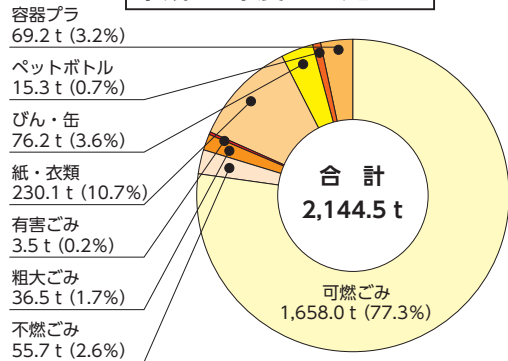
平成30年度に立科町から排出されたごみの総量は、前年度比較で約12.1t減少しました。

可燃ごみは1,658.0tと、新クリーンセンター（令和2年12月本稼働予定）への搬入計画処理量1,471t（立科町分）を大きく上回っています。施設の運営費等は、可燃ごみの投入量で大きく左右されることから、ごみの減量化に積極的な協力をお願いします。

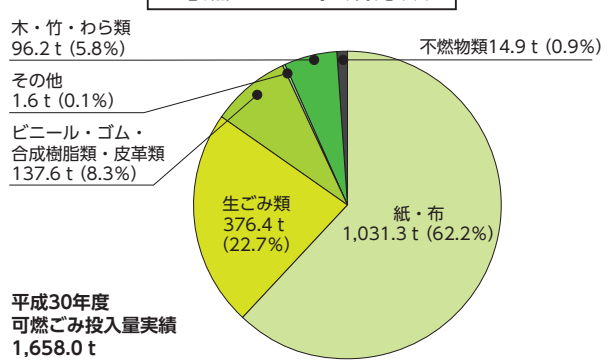
なお、立科町では生ごみ処理機器等の購入に対し補助制度があります。生ごみの資源化・減量化として、是非、ご活用ください。

立科町のごみ処理状況

平成30年度ごみ処理量



可燃ごみの組成分類



町全体総排出量 **2,144.5 t** (平成29年度：2,156.6 t)

町民1人当たり年間排出量 293.1kg
 // 1日排出量 803.1g (茶わん約5杯分)

全町民が1日当たり、ミニトマト1個分のごみを減量すると、年間約40tの減量化が可能です！ ※ミニトマト：15g/個で換算

川西保健衛生施設組合は、立科町、東御市、佐久市が共同で維持管理運営をしており、毎年、各市町からのごみの搬入量に応じて、費用を負担しています。

ごみの排出量が減れば、町の費用負担も少なくなりますので、ごみの減量化にご協力ください。

人口 (平成30年10月1日現在)
7,316人 (外国人含む)

1 「ごみゼロの日」県下一斉行動について

県では、県下統一の行動日を設け、環境美化運動を推進しています。町においても町内の環境美化を図るため、県の統一行動日を中心として清掃活動等を推進しています。

住民の皆様も各地区での清掃活動等にご理解ご協力ください。

統一行動日 5月26日(日)

統一テーマ「ポイ捨ての あなたのゴミが 川から海へ 世界へと」
 (平成30年度 環境保全に関するポスター及び標語コンクール入選作品 (高校生・一般))

2 「チャレンジ800」ごみ減量推進事業 「食べ残しを減らそう県民運動 ～e-プロジェクト～ 「残さず食べよう！30・10運動」等

県では、「もったいない」を大切に、ごみ減量日本一！～美しい信州を次世代へ～を基本目標に、様々な取組みを推進しています。ごみ減量の第一歩は身近な心がけが大切となりますので、一人ひとりが環境に対しての関心を持ちましょう！

ごみ減量化のポイント

1 生ごみの減量化・資源化

・調理くずや食べ残しを減らし、出ってしまった生ごみは 良く水を切ってから出すか、堆肥化をしましょう！

2 容器包装ごみの減量化

・買物のときは マイバックを使いレジ袋や不要な包装は断りましょう！
 ・返却・再利用のできるリターナブル容器入りの商品を選びましょう！

3 環境にやさしい買い物

・計画的な買い物をしましょう！
 ・リサイクルのできる商品を購入しましょう！
 ・環境ラベルのついた商品を購入しましょう！(エコマーク)

4 資源化

・可燃ごみや不燃ごみとして出しているごみの中に、リサイクルできるごみが含まれていませんか？
 きれいに洗うなどして、資源ごみとして出しましょう！

5 リサイクルバザーなどの利用

・不要になったものは人に譲ったり、フリーマーケットやリサイクルバザー、リサイクルショップなどを活用しましょう！

3Rを実践しましょう！

・Reduce (リデュース) …不要なものは買わない
 ・Reuse (リユース) …使えるものは繰り返し使う
 ・Recycle (リサイクル) …再資源化する